終了間際の勝ち越しヘッドを決め、ガッツポーズの平尾(撮影：藤原菜摘)

粘り見せつけ決めた！劇的逆転勝利

駒澤大学3－2東京農業大学

5 月 3 日　11：30　県立保土ヶ谷公園サッカー場

駒大	3	(2-0) (2-1)	2	東農大

得点者（ｱｼｽﾄ）

[駒]19 分山本
[駒]83 分小牟田(山本)
[駒]86 分平尾(碓井)
[東]14 分石川(今野)
[東]77 分相川井上)

KOMAZAWA	TOKYONODAI
GK①大石健太(3)	GK㉚矢口隆行(3)
DF⑯柳川剛輝(2)	DF⑤櫻岡徹也(3)
DF⑤伊藤槙人(3)	DF⑮小田原貴(3)
DF④平尾優頼(3)	DF㉓徳田康郎(1)
DF③田中雄一(4)	DF㉗加藤聖哉(1)
MF⑥若山瞭太(4)	MF⑥中垣内優太(4)
MF⑦碓井鉄平(4)	MF⑩浜田　翔(3)
MF⑰平野篤志(2)	(74 分㉝田村　脩(3))
(63 分㉓久永　翼(2))	(82 分㉞北島　尭(3))
MF㉜キム・デセン(1)	MF⑪井上啓太(3)
(66 分㉘須貝　暁(3))	MF⑭石川乾悟(2)
FW⑩山本大貴(4)	FW⑱今野順(4)
FW⑫菊池将太(2)	FW⑨相川優介(3)
(75 分⑨小牟田洋佑(3))	(78 分⑯村山　翔())
S　U　B	S　U　B
GK㉒積田景介(2)	GK㉑松尾優作(3)
DF⑮川岸祐輔(3)	MF④内藤将悟(3)
DF㉛鈴木啓晃(1)	MF⑧佐々木　翼(2)
MF㉕立石忠之(2)	MF⑰村山　翔(1)
MANAGER 秋田浩一	MANAGER 秋吉保浩

[シュート]10:7 [GK]8:8 [CK] 6:2 [直接 FK]13:17
[間接 FK]1:4 [主審]中原美智雄　[観衆]327 人

警告(C)／退場(S)

※データの左側が駒大

粘り強さで逆転！勢い止まらず

前節２―０で関学を下し、再び波に乗りたい駒大は、今季２部リーグに昇格した東農大に挑んだ。立ち上がりから両者チャンスを演出するが先にネットを揺らしたのは東農大。１４分にスルーパスを通されるとキーパーを交わし冷静にシュートを放たれる。ディフェンダーが懸命にクリアに向かうが間に合わず貴重な先制点を奪われた。しかし、ここから踏ん張る力を見せるのが今年の駒大。先制点を浴びた５分後、良い位置でフリーキックを獲得し碓井が放ったボールに菊池がボレー。これはバーに当たり跳ね返るが、最後はエース山本が右足で押し込み同点弾を叩き込んだ。山本は、これで今季５ゴール目となり、得点ランキングでは１位をキープしている。その後早い段階で追加点を挙げたい駒大は、サイドを使い平野がクロスを上げるもなかなか合わせることが出来ず前半が終了した。

ハーフタイムでは、「セットプレーを大事にしましょうという話をした」と、秋田監督が試合後に語るよう、駒大の“得意な形”での得点を狙い、後半に突入した。後半開始早々、駒大にビックチャンスが訪れる。山本がキープし平野へパスし、シュートを打つが相手に阻まれる。しかし山本が詰めネットを揺らすがオフサイドの判定。果敢に攻める駒大は、サイドから幾度もクロスが上がるが合わせられず歯がゆい展開が続く。対する東農大も負けじと駒大ゴールを脅かす。

試合が動いたのは７４分。ゴール前でパスを回されシュートを打たせてしまうと、これがディフェンダーに当たりゴールへ。東農大に痛すぎる追加点を献上。圧倒的に不利な状況に立たされた駒大だが、今年の駒大は違う。気持ちを切らさずチャンスを演出すると８４分、碓井のコーナーキックに小牟田が頭で合わせ同点に追いつく。さらに８６分、再び碓井のコーナーにニアに飛び込んだ平尾がきれいに決め勝ち越しに成功。「来たら決めようという気持ちでいた」（平尾）。３－２で逆転勝利を収め、気持ちの面でも粘り強さが見えた一戦。連戦となるが３連勝へ向けあと一歩、優勝に向け着実に勝ち点を獲得していきたい。　　（射手真矢）